

2023年度 国立情報学研究所公募型共同研究 募集要項

1. 趣旨

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所(以下、「本研究所」という。)は、大学共同利用機関として、わが国の情報学分野での「未来価値創成(学術創成)」を目指し、国内外の大学及び研究機関の研究者との共同研究を推進しています。

近年、情報学には、人と社会に今までにない実価値を生み出す新しい理論、方法論、応用展開(未来価値)が求められています。そのような研究の更なる推進と他の学問分野との連携による研究の開拓を進めるため、共同研究を募集します。

この度、募集を行う共同研究は、大学等に所属する本研究所外の研究者が申請者(研究代表者)となり、本研究所内の教員と共同で情報学に関する研究を行うものです。

若手研究者、女性研究者、地方大学の研究者の皆様のご応募も歓迎いたします。

また、国際連携の推進のため、共同研究者に海外機関所属の研究者を含む共同研究(以下、「国際共同研究」といいます。)を積極的に支援します。

2. 募集する共同研究の種類

本研究所が募集する共同研究は以下の3種類です。

いずれの共同研究の場合も、本研究所の教員を共同研究者として含むこととし、内1名を連絡担当教員(当該共同研究の指導・助言等を行います)として指定してください。申請前に連絡担当教員と打合せを行い、必ず研究実施の承諾を得てください。本研究所の教員情報については、「国立情報学研究所教員情報(別紙1)」をご覧ください。

また、本共同研究は単年度での実施とします。本共同研究をステップとして、以降は競争的資金(科学研究費助成事業、各省庁実施の競争的資金、その他財団等の助成金等)の獲得へ繋げていただきますようお願いいたします。

なお、本共同研究の遂行にあたっては、各自で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策を十分に講じた上で実施するようお願いいたします。Web 会議システム等を積極的に活用し、同感染症の拡大防止に努めてください。

(1) 戦略研究公募型【戦略】(年間上限150万円)

情報学の動向を踏まえて本研究所が戦略的に設定した研究テーマ(13テーマ)から希望の研究テーマを選択の上、具体的な研究課題を自由に設定してください。研究テーマについては、「戦略研究テーマ一覧(別紙2)」をご覧ください。

(2) 研究企画会合公募型【会合】(年間上限80万円)

下記の少なくとも一つを満たす新規の研究課題を自由に設定し、会合(交流会、議論、実習、打合せ等)を実施してください。情報学研究の枠組に拘らず、研究課題を自由に設定してください。

- 異分野と情報学との連携
- 情報学同士の連携強化
- 情報学の難問に挑戦する新たなグランドチャレンジ

会合は、共同研究者5名以上で実施してください。

通常は、本研究所の軽井沢国際高等セミナーハウス(以下の説明を参照のこと)を使用して会合を実施することとしていますが、昨今の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大による影響を考慮し、今回の公募に関しては、応募時には会合の実施場所に制限を設けないこととします。ただし、同感染症の流行が落ち着き、諸々の社会的状況が改善した際には、積極的に同セミナーハウスを利用するように会合の実施計画の変更について検討をお願いする場合があります。

なお、幅広い検討を行う観点から、類似する研究課題を合同で採択し、会合を実施していただくことがあります。

軽井沢国際高等セミナーハウス

本研究所の初代所長である猪瀬博氏の寄附を基に、閑静な軽井沢の地に設立された、学際的で国際的な討論と思索の場です。定員40名のセミナー室と10名が宿泊できる部屋があります。(追加ベッドにより15名まで宿泊可能)

他の共同研究等の会合実施場所としても是非ご活用ください。

住所:長野県北佐久郡軽井沢町 大字軽井沢字長倉往還南原1052-471

URL : <https://www.nii.ac.jp/about/seminar-house/>

(3) 自由提案公募型【自由】(年間上限100万円)

研究課題を自由に設定し、実施してください。

3. 申請者(研究代表者)の要件

- ① 国内の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生(ただし、社会人大学院生に限りません)
- ② 国内の民間企業等に所属する研究者

4. 共同研究者の要件

- ① 国内外の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生(大学の学部生及び高等専門学校の学士・准学士は含みません)
- ② 国内の民間企業等に所属する研究者

5. 研究期間

2023年4月1日から2024年3月31日までとします。

6. 申請方法

「2023年度 国立情報学研究所公募型共同研究 申請書(様式1)」を、別添の記入要領を参照の上作成ください。機関の承諾後に「17. 担当連絡先」へ電子データ(Microsoft Wordファイル)をお送りください。

所属機関代表者の承諾が難しい場合は、所属長等の承諾に代えて申請書を提出することができます。ただし、その場合は、後日機関が本共同研究を実施することについて承諾していることが分かる確認書を提出いただく場合があります。

また、申請書の作成にあたっては、必ず事前に本研究所の連絡担当教員と研究内容や方法等に関して十分に打合せを行ってください。

※申請書に記載した個人情報、情報・システム研究機構個人情報保護規程に基づき、適切に保管／廃棄いたします。また、申請が採択された場合は本研究所Webサイトに申請者(研究代表者)氏名、所属機関及び研究課題名を掲載いたします。

※全体の流れ(事前準備～申請書の提出～選考・結果連絡～共同研究の実施～成果報告書の提出～研究成果に関する追加調査)については別表をご参照ください。

7. 申請にあたっての同意事項

申請者(研究代表者)は、申請する研究課題について、下記事項に同意した上で申請してください。また、申請者(研究代表者)は当該研究課題に参画する全ての共同研究者(連絡担当教員を含む)が下記事項を順守するよう留意してください。ただし、海外の共同研究者に対しては、以下の④、⑤について対応する英語版の通読あるいは受講を可能な限り実施するよう要請してください。

- ① 個人情報、公にすることが予定されていない情報等、情報の取扱いについては、法令等に従い、自らの責任において適正に行うこと。
- ② 上記の他、自らの研究を遂行するにあたっては、関係諸規程を遵守し、社会的に必要とされる措置を講じること。
- ③ 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日文部科学大臣決定、令和3年2月1日改正)を踏まえ、学術研究に対する国民の負託及び共同研究経費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、共同研究経費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことを約束すること。
(※1) <https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>
(※2) <https://edu.aprin.or.jp/>
- ④ 本共同研究開始前までに、文部科学省が指定する研究倫理教育教材(科学の健全な発展のために―誠実な科学者の心得―日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会)の通読(※1)、一般財団法人公正研究推進協会(APRIN)提供研究倫理教育eラーニングの履修(※2)、または「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(平成26年8月26日文部科学大臣決定)を踏まえ、所属機関が実施する研究倫理教育を履修すること。
(※3) <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/daigaku/el/elindex.html>
- ⑤ 本共同研究開始前までに、所属機関が実施する安全保障貿易管理にかかる研修等を受講、もしくは経済産業省が公開している「安全保障貿易に係る大学・研究機関の教職員向けeラーニング」(※3)を受講すること。

8. 申請書の提出期限

2022年12月1日(木)(電子データ(Microsoft Word ファイル):必着)

9. 選考方法及び選考結果の通知

書面審査結果に基づき、本研究所 運営会議の審議を経て所長が決定します。
国際共同研究については、審査に当たって国際性を加味した評価を行います。
選考は2023年3月末までに行い、選考結果を申請者(研究代表者)及び申請者(研究代表者)の所属機関代表者等宛に通知します。なお、申請書は返還しませんので予めご了承ください。

10. 共同研究経費

共同研究者間の連携強化、研究成果及び情報収集の充実に重点を置き、各公募型共同研究の目的に合わせ、共同研究経費の使用は下記の通りとします。

(1) 戦略研究公募型【戦略】(年間上限150万円)

旅費、学会等参加に係る経費(注1)、論文投稿・掲載料等(注2)、その他経費(注3)。

(2) 研究企画会合公募型【会合】(年間上限80万円)

会合に伴う旅費、招待講演者への謝金支払(オンライン講演も含む)に限定します。

(3) 自由提案公募型【自由】（年間上限100万円）

旅費、学会等参加に係る経費（注1）、論文投稿・掲載料等（注2）、その他経費（注3）。

（注1）

支払対象：学会等参加費、抄本・予稿集等にかかる費用

対象事由：本共同研究の成果発表、本共同研究に係る情報収集

（注2）

対象論文：本共同研究によるものであることが明示された論文

支払対象：論文投稿・掲載料、英文校閲料（プレプリントサーバへの論文掲載、オープンソフトに関するマニュアル作成等を目的とするものも含む）

※出版を行うための費用は支出できません。

（注3）

その他経費として、以下の支払対象に限定して支出を可とします。

プレプリントサーバへの論文掲載料、オープンソフトに関するマニュアル作成費、データセット構築に要する費用、オンライン会議ツールのライセンス料、会議室借料（華美としない範囲とする）、NII研究クラウド利用料、学術・商用クラウド利用料、本共同研究による実験や成果発表のための通信・運搬費（ネットワーク利用料を含む）、招待講演者への謝金支払（オンライン講演も含む）

※支払（契約）期間は単年度とします。

※上記の事由に関連した内容であれば、謝金の支払も可とします（当該共同研究の共同研究者への支出は不可）。

※複数の共同研究経費や他の競争的資金を合算して使用はできません。

※共同研究経費の管理及び執行は、本研究所の連絡担当教員が行います（申請者（研究代表者）や共同研究者の所属機関への経費配分は行いません）。

予算執行は本研究所の連絡担当教員と協議の上、計画的に行ってください。

※旅費は、往復の交通費、日当、宿泊費を含み、本研究所の規程・ルールに従い支払われます。

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大防止に必要な物品（アクリルの仕切り版等）の購入等であっても、上記以外の費用は本共同研究経費からは支出できません。

11. 研究成果の取扱

共同研究の実施に伴い生じた知的財産権の帰属については、申請者（研究代表者）または共同研究者いずれかが単独で成した成果は、その成果を成した者ないしその所属機関に単独に帰属するものとします。申請者（研究代表者）または共同研究者が共同で成した成果は、その成果を成した者ないしその所属機関の共有とします。

12. 研究成果報告

共同研究終了後の2024年6月20日（木）までに、「2023年度 国立情報学研究所公募型共同研究 成果報告書（様式2）」を「17. 担当連絡先」に電子データ（Microsoft Word ファイル）にて提出してください。なお、様式2は案であるため変更される可能性があり、研究期間終了後に正式版の電子データを提示します。提出された報告内容は、本研究所のWebサイトや年報に掲載するほか、広報誌等にも掲載することがあります。

※本共同研究でスタートを切っていただき、以降のステップとして競争的資金の応募・獲得へ繋げていただきたく、状況を成果報告書に記載いただきます。また、競争的資金の獲得状況をはじめ、その他の成果に関しては、2024年9月～10月頃にe-mailにて追加調査を行う予定です。

13. 研究成果の論文及び外部発表

研究成果を本研究所以外に発表する場合は、本研究所との共同研究によるものであることを必ず論文等内に明示してください。

【謝辞文例(日本語)】

「この研究は2023年度国立情報学研究所公募型共同研究(採択番号)の助成を受けています。」

【謝辞文例(英語)】

“The research was supported by ROIS NII Open Collaborative Research 2023-(Grant Number).”

14. 秘密保持義務

共同研究の実施に伴い生じた研究成果及び研究所から開示を受けまたは知り得た情報については、既に自己が保有していたまたは既に公知となった情報、開示を受けまたは知得した後に自己の責めによらず公知となった情報、本研究所から同意を得た情報を除き共同研究終了後2年間秘密を保持しなければなりません。

なお、より詳細な取決めが必要な場合は、別途協議します。

15. その他(注意点)

申請書に記載した内容の一部に誤り等がある場合、特に機関の承諾・確認が得られなかった等の場合は、採択の決定後といえども、本研究所の判断により当該共同研究を中止または共同研究者の受入を中止することがありますので、予めご了承ください。

16. 採択後の共同研究者の追加・削除及び申請者(研究代表者)もしくは共同研究者所属・職名変更

採択後に共同研究者の追加・削除を行う場合には様式3「国立情報学研究所公募型共同研究共同研究者 追加・削除申請について」を、申請者(研究代表者)もしくは共同研究者の所属先や職名が変更になった場合には様式4「国立情報学研究所公募型共同研究申請者(研究代表者)／共同研究者 所属・職名変更の申請について」を、「17. 担当連絡先」に電子データ(Microsoft Word ファイル)にて、必ず事前に提出してください。

17. 担当連絡先

本共同研究の詳細についての問合せ、申請書の提出、研究成果論文・発表内容の連絡、報告書の提出は下記の連絡先へお願いいたします。

【連絡先】

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

国立情報学研究所 総務部 企画課 社会連携推進室 公募型共同研究担当

E-mail : kyoudou@nii.ac.jp

TEL : 03-4212-2139

※募集要項及び申請書等の様式は、本研究所Webサイトからダウンロードできます。

URL : <https://www.nii.ac.jp/research/collaboration/koubo/>

国立情報学研究所教員情報

本研究所の教員は、情報学プリンシプル研究系、アーキテクチャ科学研究系、コンテンツ科学研究系、情報社会相関研究系のいずれかに属しています。

【参考 URL】研究者紹介の Web ページ : <https://www.nii.ac.jp/faculty/>

【情報学プリンシプル研究系 17 名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	井上 克巳 教授	知識表現・推論、機械学習、論理プログラミング、レジリエンス http://research.nii.ac.jp/il/research.html	inoue
2	宇野 毅明 教授	数理計画、離散アルゴリズム、データ構造、組合せ最適化 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/uno_takeaki/ 【研究紹介動画あり】	uno
3	河原林 健一 教授	離散数学におけるグラフ彩色問題、グラフ構造理論とアルゴリズム、ネットワークフローとパス問題 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kawarabayashi_kenichi/ 【研究紹介動画あり】	k_keniti
4	佐藤 健 教授	AI の法律への応用 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/satoh_ken/ 【研究紹介動画あり】	ksatoh
5	武田 英明 教授	人工知能、設計学 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/takeda_hideaki/	takeda
6	龍田 真 教授	理論計算機科学、数理論理学 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/tatsuta_makoto/	tatsuta
7	根本 香絵 特任教授	量子計算、量子技術、量子光学、理論物理学 https://researchmap.jp/nemoto?lang=en	nemoto
8	吉田 悠一 教授	性質検査、準線形時間アルゴリズム、制約充足問題、近似アルゴリズム https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/yoshida_yuichi/	yyoshida
9	稲邑 哲也 准教授	ヒューマン・ロボット・インタラクション、行動認識、対話的学習、バーチャルリアリティ、リハビリテーション工学 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/inamura_tetsunari/ 【研究紹介動画あり】	inamura
10	岸田 昌子 准教授	制御理論、最適化、機械学習を用いた制御と最適化 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/kishida_masako/	kishida
11	杉山 磨人 准教授	機械学習・データマイニング https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/sugiyama_mahito/ 【研究紹介動画あり】	mahito
12	添田 彬仁 准教授	量子アルゴリズム、理論物理学、量子系操作技術 https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/soeda_akihito/	soeda

13	平原 秀一 准教授	計算量理論、平均時計算量、回路最小化問題	s_hirahara
		https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/hirahara_shuichi/	
14	松本 啓史 准教授	量子統計推測、量子情報、量子計算、情報幾何、学習理論	keiji
		https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/matsumoto_keiji/	
15	小林 泰介 助教	知能ロボット、機械学習、データ駆動型制御、ヒューマンロボットインタラクション	kobayashi
		https://kbys.t.gitlab.io/	
16	藤井 海斗 助教	組合せ最適化、機械学習	fujiiik
		https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/fujii_kaito/	
17	横井 優 助教	数理情報	yokoi
		https://www.nii.ac.jp/faculty/informatics/yokoi_yu/ 【研究紹介動画あり】	

【アーキテクチャ科学研究系 19 名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	合田 憲人 教授	クラウドコンピューティング、Internet of Things (IoT)、並列分散計算	aida
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/aida_kento/ 【研究紹介動画あり】	
2	石川 裕 教授	基盤ソフトウェア	yutaka_ishikawa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/ishikawa_yutaka/	
3	漆谷 重雄 教授	ネットワークアーキテクチャ、ハイエンドネットワークシステム	urushi
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/urushidani_shigeo/	
4	計 宇生 教授	学習による知的通信制御、マッシュ多元接続、分散学習システム、無線センシング	kei
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/ji_yusheng/	
5	鯉渕 道紘 教授	相互結合網、オンチップインタコネクト、ネットワークオンチップ、並列処理、システムエリアネットワーク、PC クラスタ、デッドロックフリールーティング、計算機アーキテクチャ	koibuchi
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/koibuchi_michihiro/ 【研究紹介動画あり】	
6	五島 正裕 教授	コンピュータアーキテクチャ、デジタル回路技術	goshima
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/goshima_masahiro/	
7	高倉 弘喜 教授	サイバーセキュリティ、ネットワーク	takakura
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/takakura_hiroki/	
8	竹房 あつ子 教授	並列・分散処理、クラウド基盤技術、インタークラウド技術、サイバーフィジカルシステム	takefusa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/takefusa_atsuko/	
9	蓮尾 一郎 教授	基盤ソフトウェア	hasuo
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/hasuo_ichiro/	
10	石川 冬樹 准教授	ソフトウェア工学、機械学習工学、自律・スマートシステム	f-ishikawa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/ishikawa_fuyuki/	

11	金子 めぐみ 准教授	無線通信工学、無線資源割当、移動体通信システムのためのプロトコル設計	megkaneko
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kaneko_megumi/ 【研究紹介動画あり】	
12	栗本 崇 准教授	通信ネットワークアーキテクチャ、システムアーキテクチャ	tkurimoto
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kurimoto_takashi/ 【研究紹介動画あり】	
13	坂根 栄作 准教授	認証認可基盤、グリッドコンピューティング	sakane
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sakane_eisaku/	
14	福田 健介 准教授	コンピュータネットワーク、時系列解析、ネットワーク科学	kensuke
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/fukuda_kensuke/	
15	青木 俊介 助教	自動運転システム、サイバーフィジカルシステム、分散ネットワーク、車両通信	aoki
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/aoki_shunsuke/	
16	加藤 弘之 助教	データ工学	kato
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/kato_hiroyuki/	
17	清水 さや子 助教	認証認可、情報セキュリティ、システム運用、データサイエンス	smz
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sayako_shimizu/	
18	関山 太朗 助教	プログラミング言語、プログラム検証	sekiyama
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/sekiyama_taro/	
19	対馬 かなえ 助教	プログラミング言語	k_tsushima
		https://www.nii.ac.jp/faculty/architecture/tsushima_kanae/	

【コンテンツ科学研究系 21 名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	相澤 彰子 教授	テキスト理解、知識獲得、文書解析、自然言語インタフェース	aizawa
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/aizawa_akiko/ 【研究紹介動画あり】	
2	北本 朝展 教授	ビッグデータ解析、人文情報学、地球環境情報学、オープンサイエンス	kitamoto
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/kitamoto_asanobu/	
3	佐藤 いまり 教授	コンピュータビジョン、コンピュータグラフィクス、 イメージ・ベースド・モデリング・レンダリング、複合現実感	imarik
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/sato_imari/	
4	佐藤 真一 教授	情報学	satoh
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/satoh_shinichi/	
5	杉本 晃宏 教授	コンピュータビジョン、ヒューマン・コンピュータ・インタラクション、 アルゴリズム、類似画像検索	sugimoto
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/sugimoto_akihiro/	
6	高須 淳宏 教授	データ工学、データマイニング、推薦システム、CPS	takasu
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/takasu_atsuhiro/	

7	プレディンガー ヘルムト 教授	擬人化キャラクタ、マルチメディア、 マルチモーダルプレゼンテーションシステム、生理的相互システム	helmut
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/prendinger_helmut/	
8	山岸 順一 教授	音声情報処理、深層学習、機械学習、生体認証、生体検知	jyamagis
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/yamagishi_junichi/ 【研究紹介動画あり】	
9	山地 一禎 教授	学術コンテンツのメタデータ化と共有、学術コミュニティ形成プラットフォーム	yamaji
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/yamaji_kazutsuna/ 【研究紹介動画あり】	
10	山田 誠二 教授	人工知能、ヒューマンエージェントインタラクション、知的インタラクティブシステム	seiiji
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/yamada_seiji/ 【研究紹介動画あり】	
11	アンドレス フレデリック 准教授	集合知、フードデータサイエンス、ヒューマンストレスモニタリング	andres
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/andres_frederic/	
12	片山 紀生 准教授	計算機科学、情報工学(データベースシステム)	katayama
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/katayama_norio/	
13	金澤 輝一 准教授	情報工学(情報検索)	tkana
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/kanazawa_teruhito/	
14	児玉 和也 准教授	電子情報工学(パターンメディア:画像工学)	kazuya
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/kodama_kazuya/	
15	込山 悠介 准教授	研究データ基盤、リサーチデータマネジメント(RDM)、セマンティックWeb、バイオインフォマティクス	komiyama
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/komiyama_yusuke/	
16	浅野 祐太 助教	Physics-based コンピュータビジョン、形状推定	asanoy
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/asano_yuta/	
17	池畑 諭 助教	コンピュータビジョン、三次元復元、フォトメトリックステレオ	sikehata
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/ikehata_satoshi/ 【研究紹介動画あり】	
18	菅原 朔 助教	自然言語処理、計算言語学、自然言語理解	saku
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/sugawara_saku/	
19	西岡 千文 助教	学術情報流通、ビブリオメトリクス、オープンサイエンス	cnishioka
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/nishioka_chifumi/	
20	孟 洋 助教	情報工学	mo
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/mo_hiroshi/	
21	ユ イ 助教	人工知能・深層学習に基づく生成、クロスモーダル検索、マルチメディア	yiyu
		https://www.nii.ac.jp/faculty/digital_content/yu_yi/	

【情報社会相関研究系 13 名】

	研究者名	専門分野	e-mail ドメインはいずれも @nii.ac.jp
		研究者紹介 URL	
1	新井 紀子 教授	遠隔教育(システム開発、教育)、数理論理学 https://www.nii.ac.jp/faculty/society/arai_noriko/ 【研究紹介動画あり】	arai
2	越前 功 教授	マルチメディアセキュリティ、マルチメディアフォレンジクス、 バイオメトリクス、プライバシー https://www.nii.ac.jp/faculty/society/echizen_isao/ 【研究紹介動画あり】	iechizen
3	神門 典子 教授	情報アクセス(情報検索システムの評価、テキスト構造・ジャンル・リンクの 分析、インタラクティブ情報アクセスシステム、文化遺産アーカイブの教育 目的応用、情報活用支援システム、言語横断アクセス) https://www.nii.ac.jp/faculty/society/kando_noriko/	kando
4	佐藤 一郎 教授	分散システム、プログラミング言語、ネットワーク https://www.nii.ac.jp/faculty/society/satoh_ichiro/	ichiro
5	岡田 仁志 准教授	電子通貨体制論、地域情報政策論、電子商取引論 https://www.nii.ac.jp/faculty/society/okada_hitoshi/ 【研究紹介動画あり】	okada
6	後藤田 洋伸 准教授	コンピュータ・グラフィックス https://www.nii.ac.jp/faculty/society/gotoda_hironobu/	gotoda
7	孫 媛 准教授	心理統計学、教育工学(ラーニング・アナリティクス、個別化学習支援)、 ビブリオメトリクス https://www.nii.ac.jp/faculty/society/sun_yuan/	yuan
8	西澤 正己 准教授	計量情報学、情報システム学、宇宙線物理学 https://www.nii.ac.jp/faculty/society/nishizawa_masaki/	nisizawa
9	船守 美穂 准教授	高等教育政策、学術情報流通政策、大学マネジメント、オープンサイエンス 海外大学事情を miho チャンネルにて配信中！< https://rcos.nii.ac.jp/miho/ > https://www.nii.ac.jp/faculty/society/funamori_miho/	funamori
10	坊農 真弓 准教授	社会言語科学、会話情報学、手話学 https://www.nii.ac.jp/faculty/society/bono_mayumi/ 【研究紹介動画あり】	bono
11	水野 貴之 准教授	複雑ネットワーク科学、経済物理学、計算社会科学、社会科学へのビッグ データ応用 https://www.nii.ac.jp/faculty/society/mizuno_takayuki/	mizuno
12	植木 浩一郎 助教	ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム、次世代学術情報システム https://www.nii.ac.jp/faculty/society/ueki_kouichirou/	ueki
13	古川 雅子 助教	教育工学 https://www.nii.ac.jp/faculty/society/furukawa_masako/ 【研究紹介動画あり】	furukawa

戦略研究テーマ一覧(13テーマ)

1. COVID-19 との共存を支える研究の提案

COVID-19 の国内及びグローバルな蔓延が社会的困難を生じ、同時に新しい社会への変革を要請している状況を鑑み、with コロナ時代に向けた研究提案を募集する。例えば、感染状況のモニタリングを効率化する技術、安全な情報の集約・分析のためのサイバーセキュリティや情報の匿名化技術、心を和らげるアプリケーション等に関する研究が挙げられるが、with コロナ時代における安心安全な社会生活の実現に資する幅広い情報学・情報技術の研究提案も含む。

2. SINET6 を活用した革新的基盤機能及びアプリケーション・サービスの提案

クラウドコンピューティング、認証、超高速・高機能ネットワーク等の大学等の研究・教育環境の高度化に寄与するような分野において、400 ギガ回線が整備された超高速ネットワーク SINET6 を活用した先端基盤機能の実験・検証に関する提案、及び新しいアプリケーション・サービスに関する提案を募集する。例えば、大規模データ転送を特徴とするコンテンツ共有基盤機能やモバイル SINET を活用した広域データ収集・解析機能、先端クラウド機能（インタークラウド、スパコン連携、IoT 連携、管理運用技術等）、簡便な実験データ格納サービス等サービスの迅速・柔軟な提供や経済化等に関する提案が挙げられる。

3. NII-SOCS のデータを活用したサイバーセキュリティ解析技術の提案

平成 27 年 7 月より正式運用を開始した NII セキュリティ運用連携サービス(NII Security Operation Collaboration Services、NII-SOCS)で収集する、1 日 10 億件程度のマルウェア情報、統計処理化された攻撃情報を用いた解析技術に関する提案を募集する。例えば、マルウェアの静的/動的解析と攻撃情報の照合による被害発生状況と傾向を推定する技術、攻撃情報から被害発生が疑われる攻撃とそのリスクレベルを推定する技術、サイバー攻撃による影響を緩和する技術、攻撃検知センサーの情報を匿名化する技術等が挙げられる。

4. オープンサイエンス時代を見据えた大学における研究データ管理体制整備の提案

世界的なオープンサイエンスの流れにより、研究データの再利用可能性を高めることによる研究の加速や、機関のコンプライアンス確保に向けた研究データガバナンスの構築が求められている。第 6 期科学技術・イノベーション基本計画では、機関リポジトリを有する全ての大学等の 2025 年までのデータポリシー策定と、公募型の研究資金における 2023 年度までのデータマネジメントプラン(DMP)導入が目標とされ、国内大学においていよいよ、研究データ管理体制整備に向けて本腰を入れる必要が生じた。本テーマでは、大学が研究データ管理に取り組む上

での課題や意義付け、戦略性、付随する学内外の制度、実効的運用を担保する体制、基盤導入や研究活動における応用など、大学における研究データ管理の導入方式に関する提案を募集する。

5. 研究資源としての「データセット」の構築と活用基盤の提案

研究用データセットとは、様々な社会的、制度的、技術的な制約を克服しつつ、研究者が共有できるように整備したデータで、使いやすく利用価値の高い研究データとして、その構築と利用環境の整備が重要な課題となっている。本テーマでは、研究用データセットの構築やそのための手法、あるいは上記の制約と共存可能なデータセットの共用基盤等に関する提案を募集する。例えば、共用可能なデータセットの整備・構築・高付加価値化、保護機能付きのデータセット共用基盤の構築、データセット共用のための制度設計等が挙げられる。

6. 社会の活動の効率化を実現する CPS/IoT サービスとシステム基盤デザインの提案

政府が掲げる Society5.0 の基盤として実世界と情報世界が融合した社会レベルのサイバーフィジカルシステム(CPS)の重要性が謳われており、実世界のセンシングで得た各種データの分析による社会の見える化や実世界へのフィードバックによる社会システムの効率化や新たな価値創造が期待されている。本テーマでは、様々な社会活動を対象とした斬新な CPS/IoT アプリケーション・サービス提案とそれを実現するための先端的 ICT システム基盤デザインに関する提案を募集する。この研究では、提供するサービスの定量的効果測定の手法やこれを可能とする CPS のシステム基盤の高度化(データ収集方式やデータ管理・分析基盤システム及び実世界へのフィードバック機構、そしてそれらの統合化とディペンダビリティの確保等)に関わる新たな課題の検討も含まれる。

7. 不確かな AI や CPS/IoT システムにおける品質エンジニアリング技術の提案

人間・社会や物理世界に深く踏み込んで動作する AI システム・CPS/IoT システムの社会実装が盛んに追求されている。これらのシステムでは、実世界での安全性や倫理・ガバナンスなど、より不確かで広い品質が求められる。加えて、深層学習や最適化など従来と異なる実装技術に対応した品質エンジニアリングが必要となる。この問題に対し、従来ソフトウェア工学の原則や技術を適合・発展させる提案を募集する。例えば、AI システムや CPS/IoT システムの不確かさに対応するための要求工学、テストング、不具合分析とデバッグ、影響分析、実行時監視、リスク分析などの技術を追及する。

8. 文化財のより深い利活用のための革新的モデルとアルゴリズムの提案

深い観賞エクスペリエンスを創成することで、文化財の利活用の新しい在り方を追求する革新的なモデルやアルゴリズムに関する提案を募集する。特に、美術館や博物館におけるパーソナラ

イゾドされた鑑賞エクスペリエンスを創成するためのモデルやアルゴリズム、ユーザインタフェース、インタラクションデザインに関して、新たなモデルやアルゴリズムの理論、設計、道具立て、評価手法等を期待する。深層学習を含むアルゴリズムやモデルに関する研究を含む。

9. 次世代インターネットのための基盤技術の提案

国立情報学研究所が構築・運用している学術情報ネットワーク SINET では、先進性、超高速・高信頼性・高機能性を追求し、日本全国の大学、研究機関等の学術情報基盤としてサービスを提供している。インターネットの更なる高機能・高性能化が要求される中、本テーマでは、次世代のインターネット基盤技術に関する提案を募集する。例えば、ルータの新しいアーキテクチャ、超高速ネットワークのための制御機構、ネットワークの高信頼化設計、ネットワークトラフィックの計測・制御方法などが挙げられる。

10. 教育研究のデジタル革新を推進する技術や手法の提案

現在の我が国は少子高齢化やそれに伴う生産年齢人口の減少等の課題に直面している一方で、教育研究の水準は諸外国に比べ相対的に低下する傾向にある。こうした状況に対処するため、教育や研究のデジタル革新を推進する技術や手法に関する提案を募集する。本テーマでは、遠隔・オンライン教育の質をさらに高めるための要素技術、研究のリモート化・スマート化のための基盤技術などに加え、学習データを活用し学習支援を実現する革新的技術の提案や、実践的な研究、新たな発想に基づく手法の提案など、多様な課題の提案を求める。

11. 量子情報処理のためのアルゴリズム・プログラミングの提案

現在様々な量子コンピュータが開発されている。これらはそれぞれに動作が異なり、その特性も異なる。これらの量子コンピュータを使いこなすためには、それぞれのハードウェアのアーキテクチャ上の制限や特性、デバイスのノイズ特性など様々な要素があり、これら現在の量子コンピュータの欠点を乗り越えるための情報処理が重要となってきた。また、大規模量子情報処理においても、現在の量子コンピュータとは大きく異なり、論理量子ビットと論理量子ゲートから成り、よりデジタルな性質をもつ。大規模量子情報処理で必要となるミドルウェアや言語形式、コンパイラなどが新しい課題として出てきている。現在の量子コンピュータから将来の大規模量子情報処理まで、現在の情報処理の応用による新しい学問体系の基礎となるような研究提案を期待する。

12. 人間中心の AI 社会を実現するためのシンセティックメディアに関わる基盤技術の提案

顔、音声、身体、自然言語などの人間由来の情報を AI が学習し、本物と見紛うシンセティックメディアの生成が可能になりつつある。シンセティックメディアは、コミュニケーション分野やエンターテインメント分野を始めとした様々な分野で活用が期待されており、高品質なシンセティックメディア生成技術の確立が期待されている。一方で、シンセティックメディアの負の側面として、詐欺や思

考誘導、世論操作を行う目的で、愉快犯や攻撃者が、フェイク映像、フェイク音声、フェイク文書といったフェイクメディアを生成、流通させる可能性があり、社会問題となっている。本テーマでは、人間中心の AI 社会を実現するために、顔、音声、身体、自然言語などの多様なモダリティを対象とした、シンセティックメディアの生成、不正な目的で生成されたシンセティックメディア(フェイクメディア)の検知、メディアの信頼性確保のための新規技術や手法に関する研究提案を募集する。

13. 多様なワークスタイルを支えるコミュニケーション支援技術の研究の提案

コロナ禍を契機にワークスタイルの多様化がすすみ、多くの人は会社、自宅、レンタルオフィスなど様々な場所で勤務するようになった。その結果、人が協働する場は会社という物理空間にとどまらず、仮想空間と物理空間が混在した新たな空間へと移り始めている。このような状況においても人間の円滑なコミュニケーションをはかることは、豊かで創造力を涵養する協働の場を維持・発展させる上で重要な課題となっている。本テーマはこのような環境におけるコミュニケーション支援技術に関する研究提案を募集する。例えば、多様な通信環境においても間や場の雰囲気を保った違和感のないコミュニケーション技術、物理空間と仮想空間をシームレスにつなげるインターアクション技術、及びその評価等、情報学・情報技術の幅広い提案も含む。

「2023年度 国立情報学研究所公募型共同研究 申請書(様式1)」の記入要領

様式1の電子ファイルに記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記入してください。

また、様式1を提出する際には本記入要領を削除するようお願いいたします。

【1. 申請者(研究代表者)】

- (1) 所属機関等名称は、所属機関・研究科・学部等まで記入してください。
- (2) 年齢は、2023年4月1日現在で記入してください。

【2. 研究課題】

- (1) 区分(「戦略」、「会合」、「自由」)から1つ選び「■」で示してください。
- (2) 「戦略」の場合は「戦略研究テーマ一覧(別紙2)」から研究テーマを選び、戦略研究テーマ番号及び戦略研究テーマ名を記入してください。
- (3) 国際連携推進のため、共同研究者に海外研究機関所属の研究者を含む共同研究(「国際共同研究」)を積極的に支援します。9. の(5)を参照し、国際共同研究に該当する場合は「■」を記入して下さい。
- (4) 研究課題名を簡潔に(50字程度にて)記入してください。

【3. 機関の承諾】

- (1) 予め申請者(研究代表者)の所属する機関の承諾を得て、機関代表者の役職・氏名を記入してください。
- (2) 機関代表者の承諾が難しい場合は、所属長等の承諾に代えて申請書を提出することができます。ただし、その場合は、後日機関が本共同研究を実施することについて承諾していることが分かる確認書を提出いただく場合があります。
※申請書はメールにて電子データ(Microsoft Word ファイル)をお送りください。

【4. 申請にあたっての同意事項】

- (1) ①～⑤の事項について、同意した上で申請してください。これらの事項に同意する場合には口を■にしてください。

【5. 設定した研究課題にかかる研究・会合の実施方法、内容等】

- (1) 各欄に指示された内容について、具体的に記入してください。

【6. 過去5年間の弊所の公募型共同研究における今回の申請に関連した研究課題の採択状況／左記研究課題の成果を踏まえた所属機関内部からの助成や外部機関が実施する競争的資金(科研費等)への応募状況(過去5年間)】

- (1) 新しいものから順に、通番(1、2、3...)をつけて記入してください。
- (2) 過去5年間の弊所の公募型共同研究において、今回設定した研究課題と関連した課題が採択された実績がある場合は、その内容を記入してください。【5. 研究・会合の実施方法、内容等】の(3)・(4)を記入した場合には、その課題の情報も必ず記入してください。
- (3) 弊所の公募型共同研究における過去の採択課題の成果を踏まえて、所属機関内部から助成を受けた場合や外部機関が実施する競争的資金(科研費等)へ申請を行った場合は、その内容を必ず記入してください。

【7. 申請者(研究代表者)の研究業績(過去5年間)】

- (1) 今回設定した研究課題に関連する過去5年間の主な論文について、新しいものから順に、通番(1、2、3...)をつけて記入してください(5件以内)。論文の筆頭著者には氏名の前に「*」をつけてください。巻号数の他に掲載年の情報も記入してください。合わせて、発表誌が電子ジャーナルの場合は DOI や URL、冊子体の場合は掲載ページも記入してください。印刷物の提出は不要です。
- (2) 今回設定した研究課題に関連する過去5年間の主な学会等の発表について、新しいものから順に、通番(1、2、3...)をつけて記入してください(5件以内)。発表情報が Web サイトに掲載されている場合は URL を記入してください。
- (3) 論文及び学会発表がない場合は、関連業務従事歴等について記入してください。

【8. 共同研究経費】

- (1) 募集要項 10.共同研究経費に記載の経費使用区分を参照の上、「旅費」「学会等参加に係る経費」「論文投稿・掲載料等」「その他経費」に分けて記入してください。
- (2) 「会合」は、会合を行う際の「旅費」及び招待講演者への謝金支払(オンライン講演を含む)のみの使用となります。
- (3) 「旅費」には旅費のみを計上し、学会等参加費は「学会等参加に係る経費」に計上してください。
- (4) 申請内容と予算執行状況が著しく異なる場合には、研究経費として認められないことがあります。

【9. 連絡担当教員・共同研究者】

- (1) 連絡担当教員については、申請前に打合せを行い、必ず研究実施の承諾を得た後に申請してください。
- (2) 共同研究者欄には、連絡担当教員以外の NII の共同研究者、大学や企業の研究者・大学院生等を含め、参加予定者全員の情報を記入してください。なお、募集要項に記載がある通り、大学の学部生及び高等専門学校の学士・准学士は共同研究者の要件に含みません。
- (3) 本研究所以外の共同研究者については、各共同研究者の所属する機関が当該共同研究への参加及び本研究所の年報等へ公開を承諾していることを確認した上で記入してください(記入がされていることをもって、承諾しているものとみなしますので、予めご了承ください。申請者(研究代表者)も同様とします)。
- (4) 本研究所からの連絡は、原則、連絡先の E-mail 宛にお送りいたしますので、必ず記入してください。なお、TEL はその代替手段として使用することがありますので、併せて記入してください。
- (5) 海外研究機関所属の共同研究者については「海外」を「■」をにし、国名(または地域名)を記入して下さい。該当する共同研究者がいる場合は、「2. 研究課題」の「国際共同研究」にも「■」を記入して下さい。

【10. アンケート】

- (1) 今後の国立情報学研究所公募型共同研究の管理・運営の参考とさせていただきたく、質問にご回答ください(複数回答可)。
なお、ご回答いただいた内容は採否には一切影響はありません。

以 上

2023年度 国立情報学研究所公募型共同研究 申請書

年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

国立情報学研究所長 殿

【1. 申請者(研究代表者)】

所属機関等住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市...		
所属機関等名称	所属機関・研究科・学部等まで記入してください。 〇〇大学〇〇学部...		
職 名	教授／准教授／助教／研究員／...		
(フリガナ)	(〇〇〇 〇〇〇)	性別(いずれかを■にしてください)	男□ 女□
氏 名	〇〇〇 〇〇〇	年齢	XX 歳(2023.4.1 現在)
T E L	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		
E - m a i l	xxxxx@xxxxxxxxx		

「2023年度 国立情報学研究所公募型共同研究 募集要項」に記載された条件に従って、下記の通り研究課題を申請します。また研究終了後は、所定の成果報告書を提出します。

【2. 研究課題】

区 分	☐ 戦略 ☐ 会合 ☐ 自由 (いずれかを■にしてください。「戦略」の場合は下欄も記入して下さい。)	
(戦略の場合 に記入)	テーマ番号	テーマ名
	戦略研究テーマ番号	戦略研究テーマ名
研究課題名		
国際共同研究	☐ (共同研究者に海外研究機関所属者がいる場合に■にして下さい。9. の共同研究者を参照のこと。)	

【3. 機関の承諾】

上記の貴研究所共同研究に申請することを承諾します。 機関名 〇〇大学 役職・氏名 学長 〇〇 〇〇

所属長等(機関の代表権限を持っていない者)の承諾にも代えられますが、その場合は、後日所属する機関が本共同研究を実施することについて承諾していることが分かる確認書を提出いただく場合があります。

【4. 申請にあたっての同意事項】

申請者(研究代表者)は、申請する研究課題について、下記事項に同意した上で申請してください。また、申請者(研究代表者)は当該研究課題に参画する全ての共同研究者(連絡担当教員を含む)が下記事項を順守するよう留意してください。ただし、海外の共同研究者に対しては、以下の④、⑤について対応する英語版の通読あるいは受講を可能な限り実施するよう要請してください。

- ① 個人情報、公にすることが予定されていない情報等、情報の取扱いについては、法令等に従い、自らの責任において適正に行うこと。
- ② 上記の他、自らの研究を遂行するにあたっては、関係諸規程を遵守し、社会的に必要とされる措置を講じること。
- ③ 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日 文部科学大臣決定、令和3年2月1日改正)を踏まえ、学術研究に対する国民の負託及び共同研究経費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、共同研究経費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことを約束すること。
- ④ 本共同研究開始前までに、文部科学省が指定する研究倫理教育教材(科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会)の通読(*1)、一般財団法人公正研究推進協会(APRIN)提供研究倫理教育eラーニングの履修(*2)、または「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(平成26年8月26日 文部科学大臣決定)を踏まえ、所属機関が実施する研究倫理教育を履修すること。
(*1) <https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>
(*2) <https://edu.aprin.or.jp/>
- ⑤ 本共同研究開始前までに、所属機関が実施する安全保障貿易管理にかかる研修等を受講、もしくは経済産業省が公開している「安全保障貿易に係る大学・研究機関の教職員向けeラーニング」(*3)を受講すること。
(*3) <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/daigaku/el/elindex.html>

(上記事項に同意する場合には右記の□を■にしてください。) □上記事項に同意します。

【5. 設定した研究課題にかかる研究・会合の実施方法、内容等】 記載欄は適宜増やして構いません。

(1) 研究・会合の目的

研究・会合の目的を、具体的に記入してください。

(2) 研究・会合の実施方法及び内容

研究・会合実施方法及び内容について、具体的に記入してください。

会合につきましては、どのような点で情報学との連携を希望するのかも記入してください。

(3) 研究・会合の新規性及び独自性

設定した研究課題の新規性及び独自性を、具体的に記入してください。過去に、今回と同一の申請者(研究代表者)による類似した研究課題が弊所の公募型共同研究において採択されていた場合には、その差分を明確に記載してください。なお、会合型は原則新規の研究課題のみ申請可能です。

(4) 2022年度公募型共同研究との関連(該当する場合のみ)

今回と同一の申請者(研究代表者)による申請が2022年度国立情報学研究所公募型共同研究に採択された場合には、設定した研究課題との関係について具体的に記入してください。

(5) 研究・会合の期待される効果及び採択後の展望

研究・会合の期待される効果及び採択後の展望について、具体的に記入してください。

【6. 過去5年間の弊所の公募型共同研究における今回の申請に関連した研究課題の採択状況／左記研究課題の成果を踏まえた所属機関内部からの助成や外部機関が実施する競争的資金(科研費等)への応募状況(過去5年間)】

過去5年間の弊所の公募型共同研究において、今回設定した研究課題と関連した課題が採択された実績がある場合には、その内容を記入してください。【5. 研究・会合の実施方法、内容等】の(3)・(4)を記入した場合には、その課題の情報も必ず記入してください。

複数の採択実績がある場合には記載欄は適宜増やして構いません。新しいものから順に、通番をつけて記入してください。

通番				
年度	〇〇年度			
公募区分 (いずれかを■ にしてください)	☐ 戦略	☐ 会合	☐ 自由	
課題名	「〇〇〇〇に関する研究」			

上記の弊所の公募型共同研究における過去の採択課題の成果を踏まえて、所属機関内部からの助成を受けた場合や外部機関が実施する競争的資金(科研費等)へ応募がある場合は、必ずその内容を以下に記入してください。複数の助成・応募がある場合には、適宜以下の欄を増やして通番をつけて記入してください。

通番					
年度					
競争的資金等名	科学研究費助成事業 基盤研究(A・B・C)等と記入してください。				
状況 (いずれかを■ にしてください)	☐ 応募予定	☐ 応募中	☐ 採択	☐ 不採択	
申請者名	競争的資金へ応募した方のお名前を記入してください。				
参加形態	応募した競争的資金における本公募型共同研究の申請者(研究代表者)の参加形態(代表者、分担者、共同研究者等)を記入してください。				
研究課題名	可能な範囲で記入をお願いいたします。				
その他情報	可能な範囲で記入をお願いいたします。				

通番					
年度					
競争的資金等名	科学研究費助成事業 基盤研究(A・B・C)等と記入してください。				
状況 (いずれかを■ にしてください)	☐ 応募予定	☐ 応募中	☐ 採択	☐ 不採択	
申請者名	競争的資金へ応募した方のお名前を記入してください。				
参加形態	応募した競争的資金における本公募型共同研究の申請者(研究代表者)の参加形態(代表者、分担者、共同研究者等)を記入してください。				
研究課題名	可能な範囲で記入をお願いいたします。				
その他情報	可能な範囲で記入をお願いいたします。				

【7. 申請者(研究代表者)の研究業績(過去5年間)】 記載欄は適宜増やして構いません。
今回設定した研究課題に関連する過去 5 年間の主な論文及び学会等の発表について、それぞれ新しいものから順に、通番をつけて記入してください(各 5 件以内)。
(1)論文の筆頭著者には氏名の前に「*」をつけてください。

(1)論文

通番		査読の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無	
論文タイトル					
著者、共著者名					
掲載雑誌名					
掲載年・巻号数・掲載ページ	電子ジャーナルの場合は、DOIもしくはURLも合わせて記入してください。				
機関リポジトリ掲載情報	掲載の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無		
	有の場合は、DOI/URLも記入してください。				

(2)学会等の発表

通番		査読の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無	
実発表者名					
共同発表者名					
発表タイトル					
発表会議名					
主催者名					
開催日・場所	国名・州・開催場所等まで記入してください。				
発表スライド等のWeb情報	情報の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無		
	有の場合は、DOI/URLも記入してください。				

(3)論文及び学会発表がない場合は、関連業務従事歴等について記入してください。

【8. 共同研究経費】

「旅費」には旅費のみを計上し、学会等参加費は「学会等参加に係る経費」に計上してください。
申請内容と予算執行状況が著しく異なる場合には、研究経費として認められないことがあります。

内訳

区分	内容	件数	金額	備考
旅費				
学会等参加 に係る経費	「会合」は記載できません。			
論文投稿・ 掲載料等	「会合」は記載できません。			
その他経費				
合計	<注>申請額の年間上限は、戦略 150 万円、会合 80 万円、自由 100 万円です。			

【9. 連絡担当教員・共同研究者】

本研究所以外の共同研究者について、各共同研究者の所属する機関が当該共同研究への参加及び本研究所の年報等へ公開を承諾していることを確認した上で記入してください(記入がされていることをもって、承諾しているものとみなしますので、予めご了承ください)。
本研究所からの連絡は、原則、連絡先の e-mail 宛にお送りいたしますので必ず記入してください。なお、TEL はその代替手段として使用することがありますので、併せて記入してください。

(1)連絡担当教員 連絡担当教員として参加する NII 所属の研究者を記入してください。

氏名	〇〇 〇〇			
所属 (いずれかを■に してください)	☐ 情報学 プリンシプル研究系	☐ アーキテクチャ 科学研究系	☐ コンテンツ 科学研究系	☐ 情報社会 相関研究系
職名	教授／准教授／助教			
連絡担当教員に研究実施の承諾を得た後、右の欄を■にしてください。				
☐				

(2)共同研究者 行数は適宜増やしてかまいません。

連絡担当教員以外の NII の共同研究者、大学や企業の研究者・大学院生等を含め、参加予定者全員の情報を記入してください。ただし、募集要項に記載がある通り、大学の学部生及び高等専門学校の学士・准学士は共同研究者に含めることはできません。

共同研究者が海外研究機関に所属している場合は「海外」を■にして国名または地域名を記入して下さい。また、2. の「国際共同研究」を■にして下さい。

(フリガナ) 氏名	所属機関・部局等・職名 (所属機関が海外の場合は「海外」を■にして、国名または地域名を記入してください)			年齢 (2023.4.1 現在)	性別 (いずれかを ■にしてくだ さい)	TEL・E-mail	
	所属機関・部局等	職名	海外				
(□□□□ □□) □□□□ □□	○○大学○○学部	教授	□ (国または地域)	xx 歳	□男 □女	T E L	xx-xxxx-xxxx
						E-mail	xxxxx@xxxxxxxxxx
(▲▲ ▲▲) ▲▲ ▲▲	▲▲会社▲▲部	研究員	□ (国または地域)	xx 歳	□男 □女	T E L	xx-xxxx-xxxx
						E-mail	xxxxx@xxxxxxxxxx
(○○ ○○) ○○ ○○	○○研究所○○系	○○ 研究員	□ (国または地域)	xx 歳	□男 □女	T E L	xx-xxxx-xxxx
						E-mail	xxxxx@xxxxxxxxxx

【10.アンケート】

今後の国立情報学研究所公募型共同研究の管理・運営の参考とさせていただきたく、以下の質問にご回答ください(複数回答可)。

なお、ご回答いただいた内容は採否には一切影響はありません。

1. 今回の公募をどのような方法でお知りになりましたか。該当するものについて□を■にしてください。

A. 国立情報学研究所の Web サイト

□

B. 国立情報学研究所のメールマガジン

□

C. Twitter/Facebook 等の SNS (* 国立情報学研究所の公式アカウントに限りません)

□

D. 所属機関内の掲示物等による広報・ポータルサイト等

□

E. 学会の Web サイト

□

F. 研究費等の公募情報 Web サイト

□

G. 国立情報学研究所の教員からの紹介

□

H. 上司・同僚・友人・知人等からの紹介

□

I. その他(右の欄に自由にご記入ください)

【
2. 今回の公募に関してお気づきの点等がありましたら、ご自由にご記入ください。

【

以 上

「2023年度 国立情報学研究所公募型共同研究 成果報告書(様式2)」記入要領(案)

様式2の電子ファイル内に記載されたグレーの文字は削除し、黒字にて読みやすい文字サイズで記入してください。

また、様式2を提出する際には本記入要領を削除するようお願いいたします。

【1. 基本情報】

- (1) 研究期間終了時(2024年3月31日)の情報を記入してください。
- (2) 所属は、所属機関・研究科・学部等まで記入してください。
- (3) 共同研究者欄には、連絡担当教員以外の NII の共同研究者、大学や企業の研究者・大学院生等を含め、参加者全員の情報を記入してください。なお、募集要項に記載がある通り、大学の学部生及び高等専門学校の学士・准学士は共同研究者の要件に含みません。

【2. 研究・会合の成果概要】

- (1) 2023年度 国立情報学研究所年報をはじめ、各種広報物や研究内容の問合せ時に使用するため、一般の方も分かる平易な文章で300～500字程度で記入してください。

【3. 研究・会合の成果詳細】

- (1) 成果詳細について、具体的に記入してください。図表等を挿入しても構いません。
また、別紙の参考資料として Microsoft PowerPoint 等のファイルを成果報告書に添付できますが、その場合でも必ず本文も記入してください(なお、別紙として資料を添付する場合は、「3.」の資料であることが分かるファイル名を付して、成果報告書のファイルと共に提出してください)。

【4. 共同研究者との連携状況】

- (1) 研究打合せや研究会等の実施状況(日時、場所、参加者、内容等)を記入してください。別途、実施後に作成した報告書等の添付に代えることもできます。

【5. 本共同研究をステップとした所属機関内部からの助成・競争的資金の応募状況】

- (1) 本共同研究をステップとした、申請者(研究代表者)／共同研究者の所属機関内部からの助成や外部機関が実施する競争的資金(科研費等)への応募状況を必ず記入してください。既に結果が出ているもの・応募中であるもの・これから申請予定のものを記入してください。翌年度弊所公募型共同研究に申請を行っている場合には、そちらの情報も記入してください。また、新しいものから順に、通番(1、2、3・・・)を記入してください。なお、採択状況等について、2024年9月～10月頃に e-mail にて追加調査を実施する予定ですのでご協力いただきますようお願いいたします。

【6. 発表成果】

- (1) 論文発表、会議発表について項目に則して記入してください。論文発表には、会議予稿集、報告書を含みます。また、新しいものから順に、通番(1、2、3・・・)を記入してください。論文の筆頭著者には氏名の前に「*」をつけてください。論文の巻号数の他に掲載年の情報も記入してください。合わせて、発表誌が電子ジャーナルの場合は DOI や URL、冊子体の場合は掲載ページも記入してください。なお、2024年9月～10月頃に e-mail にて追加調査を実施する予定ですのでご協力いただきますようお願いいたします。

【7. 産業財産権(特許等)、実証実験・イベント実施等】

- (1) 本共同研究に係る特許等の出願、実証実験やイベントの実施があれば記入してください。また、新しいものから順に、通番(1、2、3・・・)を記入してください。なお、2024年9月～10月頃に e-mail にて追加調査を実施する予定ですのでご協力いただきますようお願いいたします。

【8. 今後の展望】

- (1) 今後の展望について、共同研究の継続可否に関わらず記入してください。

(2) 「5. 」において競争的資金等への応募がない場合は、具体的にどのように次に繋げるのか記入してください。

【9. 上記項目に当てはまらない活動内容等について】

(1) 上記項目に該当しない活動内容等があれば記入してください。

以 上

2023年度 国立情報学研究所公募型共同研究 成果報告書(案)

年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

国立情報学研究所長 殿

【☐戦略 ☐会合 ☐自由】型 該当するものを選択し、それ以外のは削除してください。

2023年度 公募型共同研究 採択番号【 】 採択通知に記載された研究課題番号を記入してください。

【1. 基本情報】 研究期間終了時(2024 年 3 月 31 日)の情報を記入してください。

(1) 申請者(研究代表者)

氏名	〇〇 〇〇
所属	所属機関・研究科・学部等まで記入してください。
職名	教授／准教授／助教／研究員／…

(2) 連絡担当教員 連絡担当教員として参加した NII 所属の研究者を記入してください。

氏名	〇〇 〇〇			
所属 (いずれかを■に してください)	☐ 情報学 プリンシプル研究系	☐ アーキテクチャ 科学研究系	☐ コンテンツ 科学研究系	☐ 情報社会 相関研究系
職名	教授／准教授／助教			

(3) 共同研究者 記載欄は適宜増やして構いません。

連絡担当教員以外の NII の共同研究者、大学や企業の研究者・大学院生等を含め、参加者全員の情報を記入してください。

大学の学部生及び高等専門学校の学士・准学士は共同研究者の要件に含みません。

(フリガナ) 氏名	所属機関・部局等・職名	
(□□□□ □□) □□□□ □□	所属機関・部局等	□□大学□□部
	職 名	教授
(▲▲ ▲▲) ▲▲ ▲▲	所属機関・部局等	▲▲会社▲▲部
	職 名	研究員
(〇〇 〇〇) 〇〇 〇〇	所属機関・部局等	〇〇研究所〇〇系
	職 名	〇〇研究員
(〇〇 〇〇) 〇〇 〇〇	所属機関・部局等	〇〇大学〇〇研究科
	職 名	准教授
(〇〇 〇〇) 〇〇 〇〇	所属機関・部局等	〇〇研究所〇〇研究系
	職 名	助教

【2. 研究・会合の成果概要】(必須)

2023年度 国立情報学研究所年報をはじめとして、各種広報物や研究内容の問合せ時に使用するため、一般の方でも分かる平易な文章で記入してください(300～500字程度)。

【3. 研究・会合の成果詳細】(必須)

図表等を挿入しても構いません。
また、別紙の参考資料として PowerPoint 等スライドの添付もできますが、その場合でも必ず本文も記入してください(添付する場合は、「3.」の資料であることが分かるファイル名を付して、成果報告書と共に提出してください)。

【4. 共同研究者との連携状況】

研究打合せや研究会の実施状況(日時、場所、参加者、内容等)を記入してください。
別途、実施後に作成した報告書等の添付に代えることもできます。

【5. 本共同研究をステップとした所属機関内部からの助成・競争的資金への応募状況】(必須、不採択の場合も含む)

記載欄は適宜増やして構いません。
本共同研究をステップとした、申請者(研究代表者)／共同研究者の所属機関内部からの助成や外部機関が実施する競争的資金(科研費等)への応募状況を必ず記入してください。
既に結果が出ているもの・応募中であるもの・これから申請予定であるものを記入してください。また、新しいものから順に、通番(1、2、3・・・)を記入してください。
翌年度弊所公募型共同研究に申請を行っている場合には、そちらの情報も記入してください。

通 番				
年 度	2023年度／2024年度			
競争的資金名	科学研究費助成事業 基盤研究(A・B・C)等と記入してください。			
状 況 (いずれかを■に してください)	☐ 応募予定	☐ 応募中	☐ 採択	☐ 不採択
申 請 者 名	競争的資金へ応募した方のお名前を記入してください。			
参 加 形 態	応募した競争的資金における本公募型共同研究の申請者(研究代表者)の参加形態(代表者、分担者、共同研究者等)を記入してください。			
研 究 課 題 名	可能な範囲で記入をお願いいたします。			
そ の 他 情 報	可能な範囲で記入をお願いいたします。			

【6. 発表成果】 記載欄は適宜増やして構いません。また、新しいものから順に通番(1、2、3・・・)を記入してください。

(1) 論文発表(会議予稿集・報告書を含む)

通番		査読の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無
論文タイトル				
著者、共著者名				
掲載雑誌名				
掲載年・巻号数・掲載ページ	電子ジャーナルの場合は、DOIもしくはURLも合わせて記入してください。			
機関リポジトリ掲載情報	掲載の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無	
	有の場合は、DOI/URLも記入してください。			

(2) 会議発表

通番		査読の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無
実発表者名				
共同発表者名				
発表タイトル				
発表会議名				
主催者名				
開催日・場所	国名・州・開催場所等まで記入してください。			
発表スライド等のWeb情報	情報の有無(いずれかを■にしてください)	☐ 有	☐ 無	
	有の場合は、DOI/URLも記入してください。			

(3) 表彰、その他

通番		案件名	
成果に係る事項	表彰・その他成果に係る情報があれば記入してください。		

【7. 産業財産権(特許等)、実証実験・イベントの実施等】 記載欄は適宜増やして構いません。

本共同研究に係る特許等の出願、実証実験やイベントの実施があれば記入してください。また、新しいものから順に通番(1、2、3・・・)を記入してください。

(1) 産業財産権(特許等)

通番		
出願・登録の別 (いずれかを■にしてください)	☐ 出願	☐ 登録
発明者		
権利者		
種類		
番号		
出願・取得年月日		
国内外の別 (いずれかを■にしてください)	☐ 国内	
	☐ 国外	国名：

(2) 実証実験・イベントの実施等

通 番	
実 施 年 月 日	
題 名	
実施内容・結果	
実 施 場 所	

【8. 今後の展望】(必須)

今後の展望について、共同研究の継続可否に関わらず記入してください。

また、「5. 」において競争的資金等への応募がない場合は、具体的にどのように次に繋げるのか記入してください。

【9. 上記項目に当てはまらない活動内容等について】

上記項目に該当しない活動内容等があれば記入してください。

以上

年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立情報学研究所長 殿

申請者（研究代表者）名義でご記入ください

所属

職名

氏名

国立情報学研究所公募型共同研究
共同研究者 追加・削除 申請について

下記のとおり公募型共同研究に係る変更を申請しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

1.	手続き区分 (いずれかを■にしてください)	☐ 追加	☐ 削除
2.	採択番号		
3.	研究課題名		
4.	追加もしくは削除 を行う共同研究者 (★1)	氏名	
		年齢	歳
		性別 (いずれかを■ にしてください)	☐ 男 ☐ 女
		所属機関・研究科 ・学部・部局等	
		職名	
5.	本申請の 適用希望日 (★2)	年 月 日	

以 上

* 変更が複数名の場合には、対象者ごとに本様式をご記入・ご提出ください。

(★1) 共同研究者の要件は以下のとおりです。(募集要項より抜粋)

- ① 国内外の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生
- ② 国内の民間企業等に所属する研究者

(★2) 本申請書の提出日以降の日付をご記入ください。

年 月 日

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
国立情報学研究所長 殿

申請者（研究代表者）名義でご記入ください

所属

職名

氏名

国立情報学研究所公募型共同研究

申請者（研究代表者）／共同研究者の 所属・職名 変更の申請について

下記のとおり公募型共同研究に係る変更を申請しますので、よろしくお取り計らい願います。

記

1.	手続き区分 (いずれかを■にしてください)	☐ 申請者（研究代表者）の変更		☐ 共同研究者の変更
2.	採択番号			
3.	研究課題名			
4.	所属変更を行う 申請者（研究代表者） ・共同研究者	氏名		
		変更前 所属先 ・職名	所属機関・研究科 ・学部・部局等	
			職名	
		変更後 所属先 ・職名	所属機関・研究科 ・学部・部局等	
職名				
5.	変更日（★）	年 月 日		

以 上

*変更が複数名の場合には、対象者ごとに本様式をご記入・ご提出ください。

（★）人事異動等が発生した日付をご記入ください。

別表

全体の流れ(事前準備～申請書の提出～選考・結果連絡～共同研究の実施～成果報告書の提出～研究成果に関する追加調査)



